

「北海道新聞函館支社「高校の教室に新聞を」」

新プロジェクトを各企業が応援

2019年4月16日、北海道新聞函館支社は「高校の教室に新聞を」という新プロジェクトを始めました。これは、函館の10企業・団体からの協賛金で、新聞ラックや北海道新聞（朝刊・夕刊）を購入し、それを函館市内の私立高8校の3年生計35クラスへ届けるというプロジェクトです。

次期学習指導要領に授業での新聞活用が推奨されるなか、若い人が新聞に触れる機会が少なくなっている現状があり、「新聞を通して地域の若い力を応援したい」、「若い人が気軽に地域や社会のニュースに触れる機会を作りたい」という思いから、プロジェクトを立ち上げました。新聞の配達および教室への新聞ラック設置を私立高校長会に承諾いただいたうえで、プロジェクトに賛同する協賛企業・団体を募り、配達を開始しました。新聞ラックに協賛企業・団体名を明記するため、高校生に対して直接アプローチできます。

配達している高校では、毎朝のHRで先生が記事を紹介するなど教室ごとで活用したり、新聞の読み方や活用方法についての出前授業をして欲しいとの要望を既に複数の高校から頂いており、早速多くの反響があります。また、協賛企業・団体では、社会貢献活動の一環としても活用いただいています。

今回の協賛では、2020年3月までの1年間の配達ですが、2020年4月以降も配達する学年を拡大しながらプロジェクトを進行していく予定です。

(函館支社営業部 細井 慶介)

私立8高教室に
北海道新聞常備
函館支社が新事業

北海道新聞函館支社は16日、高校の教室に新聞を」と題したプロジェクトを開始した。10の企業・団体から集まった協賛金を新聞ラックや新聞の購入に充てる。函館市内の私立高8校の3年生計35クラス

教室に置かれたラックの前で新聞を広げる函大有斗高の生徒たち

北海道新聞の朝刊を届ける。各教室に新聞ラックを置き、高校生に新聞を読んでもらう。かけをくぐるのが狙い。函大有斗高は6クラスに新聞が届け、教員が同校身の陣上選手が現役を退いた記事を紹介した。村尾龍馬さん(1)は「地元民も知らない地域の話題をたくさん読んでいきたい」と話した。(菊池理子)

(2019年4月17日 北海道新聞 記事)
(著作物利用許諾番号：21131)

高校の教室に新聞を

新聞は、社会への関心を高め、知識を広げる「生きた教材」です。思考力、判断力、表現力が身につきます。
新しい学習指導要領でも授業への新聞活用が推奨されています。
将来を担う若者たちに、未来を生き抜く力を育ててほしい。

北海道新聞函館支社は、企業・団体にご協賛をいただき、函館市内の私立高校3年生の全クラスに新聞を贈る取り組みを始めます。

—本事業を応援していただいている企業・団体—

小倉工務店

近藤商会

株式会社
タコローション

POWER
電源開発

トヨタカローラ函館

みちのく銀行

JR北海道函館支社

函館五稜郭病院

函館市医師会
看護・リハビリテーション学院
2020年4月開校

函交ハイヤー株式会社
鈴蘭タクシー株式会社 (別名)

この取り組みについてのお問い合わせは、北海道新聞函館支社営業部まで TEL:0138-32-6665(土曜・日曜・夜間) (9:30~17:30)

POINT!

(2019年4月12日 朝刊 函館版 全5段)

* 「高校の教室に新聞を」プロジェクトを通して、高校生に対して企業・団体のPRが可能です。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2019.5)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！ (<https://adv.hokkaido-np.co.jp/>)